

平成25年行政事業レビューシート

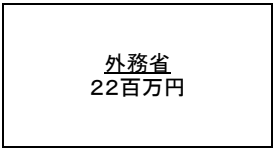
(外務省)

事業名	東京国際連合広報センター拠出金（任意拠出金）	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始	担当課室	国連企画調整課	課長 関口 昇				
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅶ－1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、通知等	国際連合財政規則第6条、第7条					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京国連広報センター（UNIC東京）は、国連活動全般について、国連公用語ではない日本語を用いて広報するために、1958年4月に日本に設置された。こうした国連による取組は、我が国国民にとっても大きな利益となることから、我が国はUNIC東京の活動全般を支援するために拠出を行っている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本件拠出金の対象は、UNIC東京の活動経費及び施設費を対象としている。 UNIC東京の活動経費は、国連の日本語資料の作成、日本語ホームページの運営、国連に関するセミナー、講演会等の開催、国連幹部の訪日受け入れ等に充当されている。 施設費は、国連大学本部ビルに所在している全ての国連機関が専有面積等に応じ支払う施設維持費であり、国連大学が管理している。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	31	26	22	30		
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計		31	26	22	30		
	執行額		31	26	22			
執行率（％）		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	UNIC東京への①HPアクセス数と②YoutubeUNICチャンネルビュー件数の合算毎月約30万件以上を目標とする。		成果実績	月／万件	36	31(①29,②2)	19(①18,②1)	31(①30,②1)
			達成度	％	—	87%	50%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国連文書翻訳数		活動実績 (当初見込み)	個	142 (113)	87 (90)	87 (21)	— (50)
	広報資料作成・発行数			種／部	6/29885 (6/20,525)	6/27,300 (6/20,525)	4/21,200 (4/17,402)	— (3/26,200)
	セミナー開催数・参加者数			回／人	25/1,000 (20/1,000)	52/5,029 (30/1,900)	59/5,227 (48/4,300)	— (40/4,000)
	シンポジウム開催数・参加者数			回／人	14/1,600 (9/1,280)	18/2,263 (20/1,600)	7/1,080 (10/15,000)	— (10/2,000)
単位当たりコスト	116(円／1人)		算出根拠	116円＝22,123千円(拠出額)÷19万人 注：UNIC東京への①HPへのアクセス数と②Youtube UNICチャンネルビュー件数をUNIC利用者数として計算				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設費	14						
	広報活動費	13						
	予備費	2						
	事業管理費	2						
	計	30						

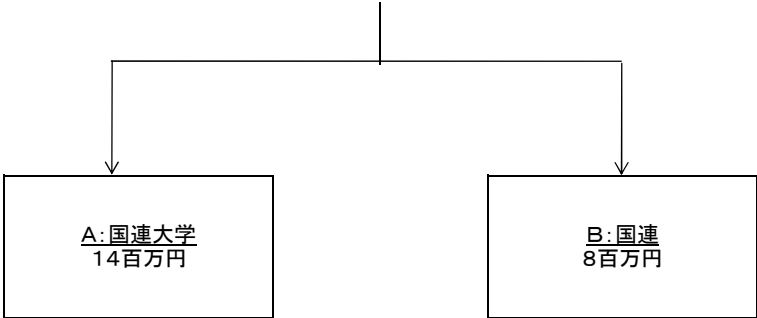
事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	年間を通じ、NGO、企業、学校、メディア等幅広い国民層から国連の活動全般に関する問い合わせが寄せられている。また、重要決議の翻訳文は、唯一の和文として論文執筆等に活用されている他、オリジナル出版物へのニーズも高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	インターンの活用、従来の紙媒体からインターネット広報へのシフト等、広報ツールを工夫することにより、大幅なコスト削減に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	YouTube、Facebook、Twitterなど、国連広報局と連動してSNSを活用することで若年層の関心を集める等、新たな広報戦略を柔軟に展開。また、過去に実施したイベントの成果物の活用にも努めている。併せて、学生等を対象にUNIC東京事務所訪問の機会を設け、国連の活動についてのブリーフィング、ライブラリースタッフ・ワークショップ等を実施。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	予算効率化等の観点から、広報戦略の抜本的な見直しを行っている。具体的には、ウェブサイトの大規模なリニューアルを行い、今後長期的に広報戦略の基盤として活用可能なユーザーフレンドリーなサイト構築に注力しているところである。併せて、新規に導入したSNS（Facebook、Twitter、YouTube等）を活用し、UNICウェブサイトからリンクを貼る等各ツールの相互連携に努めている。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	134	平成23年	132	平成24年 158

個別事業名： 東京国際連合広報センター拠出金（任意拠出金）

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



（拠出金は、UNIC東京の活動経費及び施設費を対象としており、人件費及び事務経費は国連から支給されており、対象外）



（施設維持費）

（平成25年のUNIC東京の活動に充当されるため現在使用中であるが、国連の日本語資料の作成、日本語ウェブサイトの運営、国連に関するセミナー・講演会等の開催等を行う予定）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

個別事業名: 東京国際連合広報センター拠出金 (任意拠出金)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.国連大学			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	施設費	専有面積に応じて支払う施設維持費	14			
	計		14	計		0
	B.国連			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	広報活動事業	8			
	計		8	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： 東京国際連合広報センター拠出金（任意拠出金）

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連大学	施設維持費	14	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連	広報活動事業	8	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					